

2024年3月11日
九州旅客鉄道株式会社

第55回福証IRフェア オンライン(2024年3月5日(火)16:00~16:45)
質疑応答要旨

時間の関係上、当日回答できなかった主なご質問(原文のまま記載しています)と弊社からの回答は、以下のとおりです。

- Q 九州旅客鉄道が目指す将来の多角経営の姿についてお考えをお聞かせください。
- A 当社では、「安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かしたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献する」という2030年長期ビジョンを掲げています。
- また、長期ビジョンを実現するための2つの方針として「価値観の変化を捉えた“豊かな生活を実現する”まちづくり」「九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大」を図ることとしています。
- 2024年度までは、本日ご説明した鉄道事業での事業構造改革や福岡、西九州エリアでのまちづくりなどと新たな貢献領域での事業展開を図り、早期に成長軌道への復帰を図ることを目指しています。
- 2025年度以降は、まちづくりと新たな貢献領域のシナジー発揮による生活圏の拡大・強化により、持続的な成長を目指してまいります。

- Q 九州地区も多くの赤字路線を抱えていますが、今後赤字区間はどのように取り扱っていくのかお考えをご教授ください。
- A 前提として、線区により事情が異なるため、一概に方針を述べることはできませんが、まずは地元の理解を得ることを目的に2018年度分より、平均通過人員が2,000人/日未満の線区の収支を開示しております。
- また、2019年より、6路線7線区において、「線区活用に関する検討会」を自治体と行ってきました。さらに、昨年11月より、指宿枕崎線の一部区間について、沿線自治体と今後の地域交通のあり方に関する協議を始めております。
- このように、沿線の方々に現状を知っていただき、今後の地域交通がどうあるべきかをともに議論していくことが必要であると認識しております。

Q 数日前、同業の西鉄バスが慢性的な運転手不足に加え、2024年問題から都市部を中心に最終便の発車時刻を大幅な繰り上げを発表していました。御社でも同様の問題はあると思いますが、人材不足をどのように対応していますか。

A 従業員の満足度を高めるべく、今期と来期で合わせて12%の賃上げを予定しております。また、採用活動も強化しており、中途採用を本格的に開始するとともに、経験者採用（ハッピーターン採用）も開始いたしました。経営陣による全社員との意見交換会を実施し、従業員エンゲージメントを向上させるよう努めております。

本年3月16日に香椎線でGOA2.5自動運転を導入しますが、新技術で将来の人材不足に対応する取組みも進めております。

Q TSMCの熊本工場が開所され、更に第二工場の話もあり、熊本が盛り上がっているようですが、御社にも何らかの好影響は出ていますか。

A 足元では、熊本駅のホテルの稼働率が上がっているほか、最寄り駅の乗車人員が伸びているといった影響が出ています。中長期的には、どのように沿線のまちづくりに貢献できるか検討しております。

Q 新NISA制度を機に、初めて投資を始める人達に向けた取組みがあればお願いします。

A 今年度から、若年層の投資家が多い大手ネット証券会社でのIR活動を積極的に実施しております。今後も当社の理解を深めていただくため、情報発信を強化してまいります。

Q PBRは1.3倍ありますが、それでも通過点にすぎない領域であると思うのですが、会社としてはどう認識されているのでしょうか。もし、今後PBRを上げていこうとお考えの場合はどこまでという明確な目標は決めておられるのでしょうか。

A 市場からの評価については、PBR1倍以上というのが最低限の目安と認識しております。現時点で1.3倍程度であるものの、引き続き、PBR向上のため適時適切な事業ポートフォリオの見直しや、投資家の皆さまをはじめとする資本市場との建設的な対話に真摯に取り組む等、引き続き資本コスト・収益性を意識した経営を推進して参ります。なお、PBRについて現時点で明確な目標を定めたものはございません。

Q 25年以降の収益の見通しについて教えてください。

A 2024年度以降は、まちづくりと新たな貢献領域のシナジー発揮による生活圏の拡大・強化により、持続的な成長を目指してまいります。

数値目標は、2030年度で営業収益6,000億円、営業利益700億円としています。

.....

Q 航空会社との連携を行い、相互割引制度による顧客の誘致という構想はありますか。

A 航空会社様との連携については、直近では2022年11月～2023年9月までの間、スターフライヤー様と共同し、機内でJR九州フリーきっぷ（エリア周遊きっぷ）を販売するという企画や、本年2月17日にはANA様と共同し、弊社の大村車両基地見学とANAの訓練施設や格納庫を見学できる舞台裏体験ツアーを実施いたしました。

今回のご意見は、貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。

.....

Q 株主総会以外にも年1回、九州、関西、関東などのブロックごとの直接の意見交換会があると良いのですが、検討していただけますか。

A 弊社では株主さまの皆さまに向けて、弊社施設を見学いただくなどの株主さま向けイベントを開催しています。今後も継続して開催するとともに、九州外にお住まいの株主さまも多くいらっしゃることから、新たに九州外でのイベントや意見交換会等の実施について検討してまいります。